



TOTO GREEN CHALLENGE

創りだそう！水と暮らしの新しい文化

TOTO水環境基金

第8回 助成団体活動報告

(2013年4月～2014年3月)



TOTO水環境基金とは

TOTOグループは、水まわりを中心とした、豊かで快適な生活文化を創造することで、社会の発展に貢献する企業を目指しています。未来に向けて、大切な水資源を有効に活用して社会が持続的に発展していくためには、節水技術の追求というTOTOの果たすべき役割とともに、NPOをはじめとする市民活動の果たす役割も欠かせません。そこでTOTOは、よりよい社会を築き支え、社会と共生することを目的に、2005年度より「創りだそう!水と暮らしの新しい文化」をテーマとして市民の取り組みを支援することになりました。

現在では、助成金による経済的支援だけでなく、TOTOグループ社員の活動参加や情報交換などを通じて、年々活動の輪が広がっています。

第8回 募集概要

第8回TOTO水環境基金は下記のとおり募集・選考を行いました。

助成内容について

助成期間 2013年4月1日～2014年3月31日までの1年間

助成金額 総額 1,007万円 (20団体)

過去の助成結果 第1回:総額1,090万円(12団体) 第4回:総額1,200万円(16団体) 第7回:総額 980万円(16団体)
 第2回:総額1,560万円(12団体) 第5回:総額1,102万円(18団体) ※第3回はTOTO90周年記念事業として助成額を増額、複数年(3年以内)を助成。
 第3回:総額8,051万円(29団体) 第6回:総額 751万円(10団体)

選考について

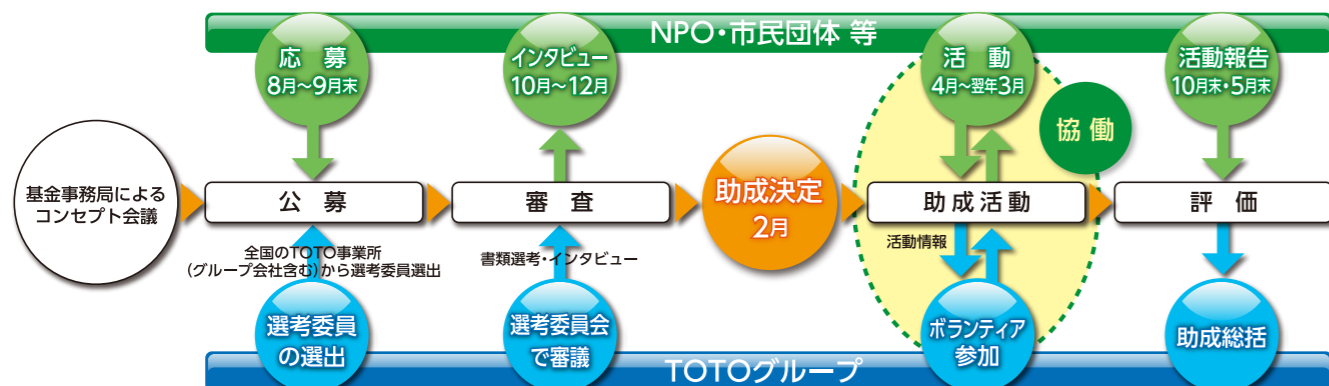
- 応募資格**
- (1) 営利を目的としない市民活動団体(法人格の有無や種類を問わない)
 - (2) 地域(日本国内)に根ざした活動をしている団体、または日本国内に本部を有する団体で、海外に支部(現地拠点)あるいは現地カウンターパート(現地NGOなど)を有し、現地スタッフが活動している団体
 - (3) 目的や内容が、特定の宗教や政治などに偏っていない団体
 - (4) 直接的又は間接的を問わず、暴力団、暴力団員、暴力団関係者、総会屋その他の反社会的勢力と交際、関係等がない団体

選考方法 下記の基準にもとづいて選考を行いました。

- (1) プロジェクトが契機となり、地域で水と暮らしの文化に関わる新しい仕組みや事業を創り出す可能性があるか。
- (2) 地域の暮らしに根ざした活動で、継続性が期待されるか。
- (3) 生物多様性の保全、CO₂削減など地球環境保全に寄与するか。
- (4) 目的や内容が明確で、プロジェクトの必要性や重要性が高いか。
- (5) 実施手法や実施体制あるいは予算の面から、プロジェクトの実現性が高いか。
- (6) 地域に住む人びとが活動の中心となり、専門家の参加や協力を得ることで、より高い効果が得られるか。
- (7) 団体の活動にTOTOグループ社員や家族なども参加し、協働で活動を進めることができるか。(ただし、海外等一部の地域については除きます。)

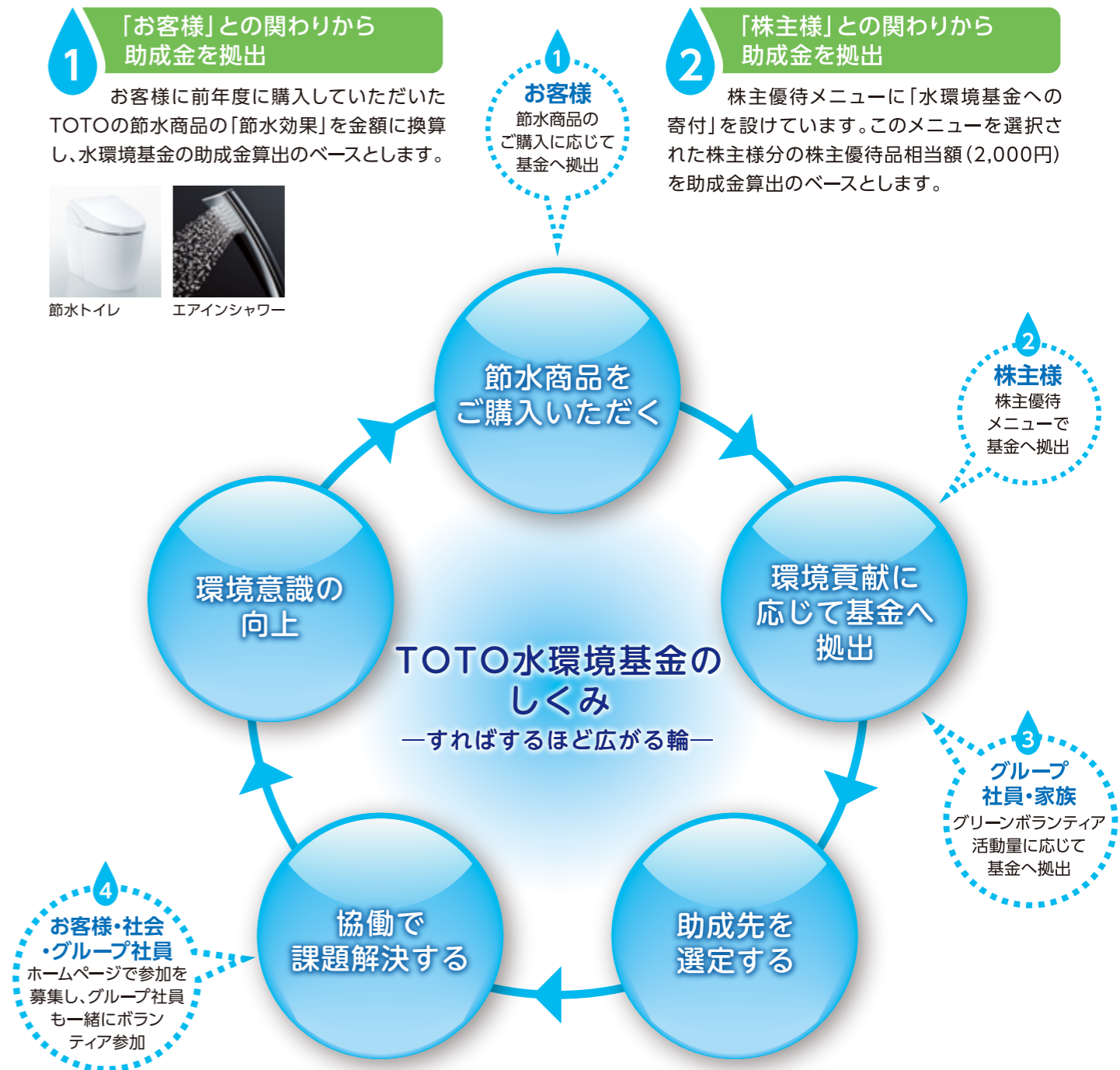
公募から助成までの流れ

公募から助成までのすべての段階にTOTOグループ社員が参画しており、協働による環境貢献活動の発展を目指しています。



環境貢献のサイクル

社会全体との協働を通じた環境貢献を目指して、ステークホルダーの皆様の環境貢献への関わりが増すほど、助成金が増えていく仕組みを展開しています。



4 「お客様」のボランティア参加を募集

助成団体のボランティア活動をTOTOホームページでご紹介し、一般のお客様の参加募集を行っています。皆様もお近くの活動にぜひご参加ください。

詳しくは [TOTO水環境基金](#) で [検索](#)



3 「グループ社員」のボランティア活動から助成金を拠出

TOTOでは、植樹や地域清掃などの環境に関わる社会貢献活動を「グリーンボランティア」と称し、グループ社員の参加を促進しています。前年度にグループ社員をはじめ家族やお取引先が参加したグリーンボランティア活動の実績を助成金算出のベースとします。

第8回 助成活動の成果

第8回TOTO水環境基金では20団体に助成を行い、各地で助成団体とTOTOグループ社員が協働して、水環境を守る活動に取り組みました。

助成活動の活動回数

338回

(当初予定回数347回)

活動にご参加いただいた人数

12,676人

うちTOTOグループ
参加人数 1,335人

子どもたちが
参加したイベントの
開催回数

63回

環境教育、体験学習、
出前授業など

湖・川・水路など

自然を守るために植えた植物 **821** 苗
(ヨシ・菖蒲・芝桜など)

水路整備 **1.5** km

外来種駆除 **31** 匹 (ザリガニ)

山・森林など

自然を守るために植えた植物 **2,286** 本
(ヤマザクラ・こなら・いちよう・梅など)

伐採木を薪として活用 **5,000** kg

伐採木を草原木として活用 **250** 本

植栽地の草刈り **24** ha

楮の生産 **140** kg

ゴミ

水環境や景観保全のために
収集したゴミの量

19.595 t

海

自然を守るために植えた植物 **300** 株
(海藻苗・アマモ苗など)

アマモ種子採取 **2** 万粒

アマモ種子播種 **1.5** 万粒

買い物カゴ
アオサ回収量 約 **1,120** 箱

海外

ポンプの設置数

9 台

上記は、助成団体の活動成果の一例ですが、団体の活動を通じて、市民の環境意識の高まりや地域の課題解決へ向けた活動の活性化がはかられたものと考えます。助成期間終了後も、TOTOグループ社員が引き続きボランティア参加し、活動を支援してまいります。

第8回 助成団体一覧

No.	プロジェクト名	団体名	主な活動地域	ページ
1	当別の22世紀の森づくり	NPO法人 森をたてようネットワーク	北海道石狩郡当別町	5
2	御前山ビオトープ希少動植物の育成活動と御前山ダム周辺環境整備	御前山ダム環境センター	茨城県常陸大宮市	6
3	ビオトープ15年目のほたるの里の生き物マップづくり	八千代市ほたるの里づくり実行委員会	千葉県八千代市	7
4	白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり	白子川源流・水辺の会	東京都練馬区	8
5	西なぎさ発：東京里海エイド	DEXTE-K	東京都江戸川区	9
6	多摩川で遊ぼう (美化活動・自然体験・川の安全教室)	NPO法人 おさかなポストの会	神奈川県川崎市多摩区	10
7	水と緑に輝く里山	金山里山の会	富山県射水市	11
8	魚つき林の再生および地域の水環境保全歴史探究	一般社団法人 海っ子の森	三重県紀北町、尾鷲市	12
9	家棟川の生態回廊の再生 ービワマスが遡上する川にー	NPO法人 家棟川流域観光船	滋賀県野洲市	13
10	人と自然の“輪”プロジェクト	NPO法人 環境教育技術振興会	大阪府泉南郡	14
11	海浜公園海辺のアオサ回収 堆肥化プロジェクト	高砂海浜公園海辺の保全集いの会	兵庫県高砂市	15
12	久保・肱川源流 水でつながる活動	久保・肱川源流を想う会	愛媛県西伊予市宇和町	16
13	大羽谷川流域の環境美化活動	大羽谷川流域の環境を考える会	広島県尾道市	17
14	こども森林ボランティア養成講座 「もりメイトキッズ」	NPO法人 もりメイト倶楽部 Hiroshima	広島市内(西区、南区、安佐北区) 広島市安佐北区白木町 広島県大竹市松ヶ原など	18
15	水と緑の環境美化プロジェクト	東朽網校区まちづくり協議会	福岡県北九州市小倉南区	19
16	ホテル舞う旧長崎街道を目指して ～ホテルの飛翔域の拡大～	香月・黒川ほたるを守る会	福岡県北九州市八幡西区	20
17	めざせ!紫川を日本一の清流にする プロジェクト2013 ～“山”“TO”“水”“TO”“私たち中谷”水源再生事業～	中谷地区まちづくり協議会	福岡県北九州市小倉南区	21
18	冷川のホテルと親しむ会	冷川のホテルと親しむ会	大分県別府市	22
19	氷川ダム湖 かき殻まつり	次世代のためにがんばる会	熊本県八代市	23
20	飲料水及び持続可能な農業のための灌漑用水支援事業	NPO法人 フリー・ザ・チルドレン ・ジャパン	フィリピン・ザンバレス州	24

当別の22世紀の森づくり

団体名 NPO法人 森をたてようネットワーク
 主な活動地域 北海道石狩郡当別町
 代表者 石出 和博
 HPアドレス <http://www.mori-net.org/>



活動報告

森林の保全、森づくり活動や自然観察を通して、自然に親しむ機会を皆で共有することができた。北海道大学名誉教授から実演指導を受け、「赤ナンバン」の粉末液を木の根元から塗る「ねずみ除け」の初実験にも挑戦した。

これまで当別ダムの上流域に位置する11ヘクタールの水田跡地に、10年間にわたり5000本以上の苗木を植樹し、育樹に力を入れてきた。この活動により札幌などの都市住民に「きれいな水」の供給ができることを願い、活動の輪を広げていきたい。

助成期間中に木を植えて育てる大切さを学ぶ朗読会も開催した。舞台俳優の朗読による、フランスの作家ジャンジオノ著「木を植えた人」は、聴く側に深い感動を与えた。



冬に向けての準備



ねずみ除け実験



木を植えて育てる大切さを学ぶ朗読会

活動実績

参加人数



のべ **370**人
うちTOTO
グループ参加 **51**人

活動回数



6回



御前山ビオトープ 希少動植物の育成活動と 御前山ダム周辺環境整備

団体名 御前山ダム環境センター
 主な活動地域 茨城県常陸大宮市御前山ダム周辺
 代表者 長山 安隆



活動報告

希少動植物の育成とヤマザクラ植樹による自然環境保全に取り組んだ。希少動植物の生態を学ぶことにより、生物の多様性を理解することができた。

エノキ、ヤマザクラの植樹により、地球温暖化問題への理解を深めることができた。今後も継続的に活動を行うことで、ヤマザクラ植樹面積の拡大と、すでに植樹したエリアの管理を行っていきたい。

また、地域およびTOTO社員との交流により、環境への取り組みに対する理解、認識を広めることができた。そして、過疎、高齢化が進む地域にあって、この活動の次世代への継続と拡大への希望が持てるようにもなった。



希少動植物の生態観察



ヤマザクラ植樹



ビオトープ整備

活動実績

参加人数



のべ **806**人
うちTOTO
グループ参加 **130**人

植樹数



ヤマザクラ
200本

植栽地草刈



24ha

活動回数

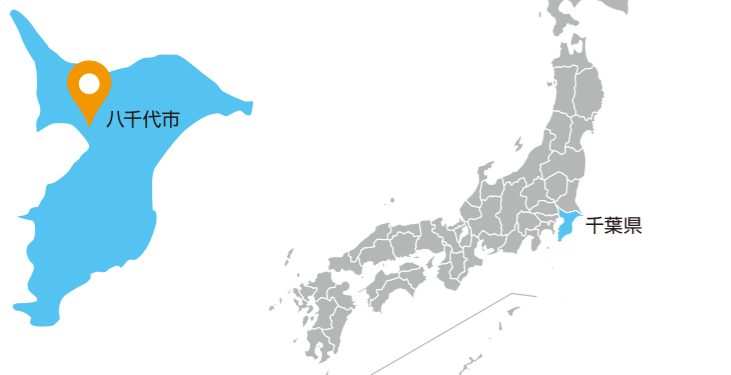


30回



ビオトープ15年目の ほたるの里の生き物マップづくり

団体名 八千代市ほたるの里づくり実行委員会
主な活動地域 千葉県八千代市
代表者 金室 彰



活動報告

15年継続している「ほたるの里」の生き物調査を今年も実施した。現在の生息状況を把握し、ホタルをはじめ多様な水辺の生物が生息可能な環境づくりに取り組んだ。TOTO 社員の参加に助けられ、CSR についての会員の理解も進んだ。

年間計画通りほぼ実施でき、生物の生息マップおよび生き物データ作成、整備作業等も充実し、無事故で楽しく活動ができた。ただ、雨天の日もあり、調査が十分できない面もあった。

調査結果からヘイケボタルや水辺の生物が生息できる環境づくりの整備の見直しや、会員および市民への「ほたるの里」の利用・活用推進など、次年度事業の展開も見えてきた。



水中の生き物調査



ヘイケボタル放流



ホタルを守ろうザリガニ釣り大会

活動実績

参加人数



のべ **377**人
うちTOTO
グループ参加 **66**人

ザリガニ捕獲数



31匹

活動回数



13回



白子川源流の水辺環境保全と 湧水の町づくり

団体名 白子川源流・水辺の会
主な活動地域 東京都練馬区東大泉
代表者 菅沢 博
HPアドレス http://www.geocities.jp/sirako_river/



活動報告

湧水と水辺環境を保全し改善するために、以下5点に留意しながら、毎月の定例活動（水質調査、川掃除、生き物調査）を実施し、各種の啓発活動も行ってきた。①下水流入による土壌悪化②区民の環境意識の向上③白子川があることを知らせる④会員と一緒に行動する住民を増やす⑤地域の活性化や学校の教材として白子川を使ってもらおう。

その結果、毎月第四日曜日の午後に、TOTOの皆さんのご支援をいただきながら実施する定例活動は予定通り実施できた。また、その際、住民参加（とりわけ小学生と母親の参加）が確実に増えてきた。白子川源流祭りも成功裏に開催でき、大泉南小学校の総合学習への協力は予定通りの成果を上げた。



小学生の白子川体験



定例活動の様子



白子川源流まつり

活動実績

参加人数



のべ **180**人
うちTOTO
グループ参加 **75**人

集めたゴミの量



75袋

活動回数



12回



西なぎさ発:東京里海エイド

団体名 DEXTE-K
 主な活動地域 東京都江戸川区 葛西海浜公園/西なぎさ
 代表者 橋爪 慶介
 HPアドレス <http://www.dexte-k.com/>



活動報告

東京都江戸川区にある葛西海浜公園/西なぎさでの漂着ごみのクリーンアップ活動を展開した。葛西の海は荒川と旧江戸川にはさまれ、関東圏の河川からの漂着ごみが絶えない状況である。一方、葛西の海はかつて江戸前の良い漁場であり、歴史的にも水環境の豊かな地域であった。

人工的に干潟環境を再生した葛西臨海公園・海浜公園では、希少種を含む生物が多く回帰しており、ひとつの生態系もできてきている状況である。

生態系上、重要な水辺で、漂着ごみのクリーンアップを少しずつでも実施し、周囲の自然を観察しながら、持続的にやっていくことの大切さと意義を、今後もより多くの方々に広げていきたい。



クリーンアップ活動



荒川クリーンエイド



水生生物調査

活動実績

参加人数



のべ **477**人
 うちTOTO
 グループ参加 **174**人

集めたゴミの量



450換算
185袋

集めた粗大ゴミの量



36個

集めた危険ゴミの量



156個
 以上

活動回数



10回



多摩川で遊ぼう (美化活動・自然体験・川の安全教室)

団体名 NPO法人 おさかなポストの会
 主な活動地域 神奈川県川崎市
 多摩川・三沢川 河川敷
 代表者 山崎 雅彦



活動報告

清流が甦った多摩川を遡るアユを魚道で観察し、エールを送った。観察会の前にゴミ拾いを実施し、持参したゴミ袋で持ち帰り、親子でゴミの分別をして、多摩川のごみの現状を学習した。子どもたちによるアユの放流も行い、川の浄化と生命を身近に感じる体験をした。また、天然アユを食べることで、川に親しみを持たせた。

三沢川探検隊ではゴミ拾いのあと、水に棲む生き物を採集し、簡易水族館を作って、その生態を学んだ。

夏休み多摩川教室ではボート川下り体験も実施。多摩川灯ろう流しでは、東日本大震災追悼と復興応援の灯ろう流しを行い、被災地から届けられたカメや魚の里親探しを行った。



三沢川探検隊



夏休み多摩川教室



多摩川灯ろう流し

活動実績

参加人数



のべ **3,388**人
 うちTOTO
 グループ参加 **3**人

集めたゴミの量



25kg以上

活動回数



4回



水と緑に輝く里山

団体名 金山里山の会
 主な活動地域 富山県射水市
 代表者 前川 修



活動報告

射水市の南部に位置する下条川流域は、昭和30年代以降、樹木が利用されなくなり、荒れた里山となった。通常、里山の樹木は30年程度で伐採することが、豊かな水循環を形成する上で理想である。しかし、現在この地域は原生林化し、水循環に良好とは言えない状況となっている。

私たちは水と緑に輝く里山に、松茸等の茸が生え、ホタルが乱舞し、冬には白鳥が飛来する地域を守るために活動を展開している。

今後、伐採した樹木は、薪として利用して、エネルギー資源として活用を図る。また、伐採木を茸原木として里山に配置し、多種多様な茸の生える里山にしたい。子どもたちが遊び、学ぶ場所とし、カブトムシ等も伐採木や落ち葉で育て、親しめる里山にしたい。



里山の整備

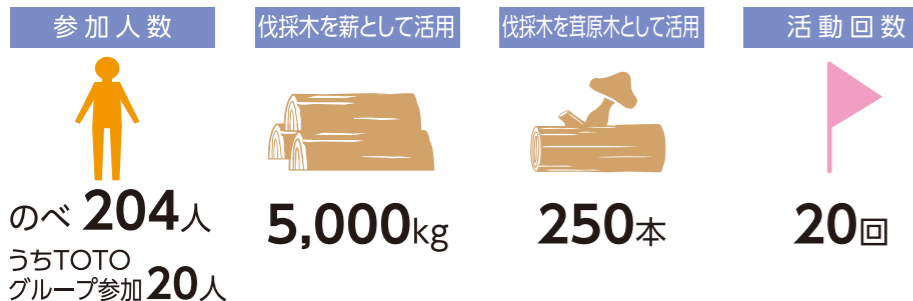


シイタケ菌入れ体験



里山講演会

活動実績



魚つき林の再生および地域の水環境保全歴史探究

団体名 一般社団法人 海っ子の森
 主な活動地域 三重県 東紀州地域
 代表者 山下 達己
 HPアドレス <http://www.umikko.jp/>



活動報告

活動を通して、海辺の広葉樹の森が海の生物にとって有用性が高いことを理解していただけた。

また、海岸・海中清掃活動を通じて、多くのプラスチックごみや流木・間伐木が、海洋生物に大きな影響を与えていることを体験的に知ることができた。環境保全活動を一部の活動家だけでなく、市民一人一人に広げる必要性も体得できた。

熊野古道センターでの地域文化の学習会にも多くの参加者があり、木の文化の学習、海洋性池の形成過程や、湖畔の絶滅しつつある固有種の保護の必要性等を学んだ。



魚の森ビーチクリーン

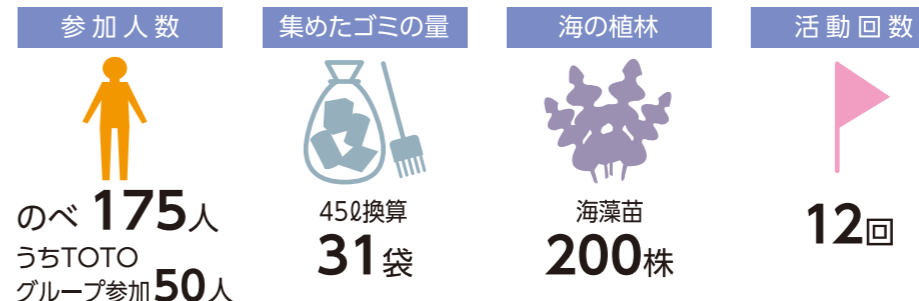


尾鷲海の森作り



環境教育の様子

活動実績



家棟川の生態回廊の再生 —ビワマスが遡上する川に—

団体名 NPO法人 家棟川流域観光船
主な活動地域 滋賀県 家棟川の水源の山から琵琶湖
代表者 北出 肇
HPアドレス <http://www.yanamunegawa.org/>



活動報告

家棟川の水源の山から琵琶湖まで8ヶ所で、春・夏・秋と年3回の生態調査を実施し、水フォーラムで発表している。また、山・川・田・びわ湖の環境保全で生態系の保護活動を系統的に行っている。

これらの活動が評価され、知事と経済同友会から「しが生物多様性大賞」を受賞することができた。受賞対象者は家棟川で生態回廊の再生をめざすネットワーク、NPO法人家棟川流域観光船、TOTO滋賀工場、野洲市環境基本計画推進会議、滋賀県琵琶湖環境科学研究センターの4者である。

受賞は3月11日付読売新聞に大きく報道された。この受賞を励みに、今後もさらに活動の輪を拡げていきたい。



魚のゆりかご水田生物観察会



びわ湖清掃活動



ヨシ苗を植える

活動実績

参加人数 のべ 2,009 人 うちTOTOグループ参加 230 人	植樹数 こならなど 1,240 本	植樹数 ヨシ苗 821 株 マット苗 82 枚	活動回数 15 回	
--	-----------------------------	---	---------------------	--

人と自然の“輪”プロジェクト

団体名 NPO法人 環境教育技術振興会
主な活動地域 大阪府泉南郡
代表者 関藤 博史
HPアドレス <http://www.npo-can.org/>



活動報告

大阪湾は浅海域の埋立てが進み、海辺に親しむ機会と場が極端に減少した。そのため、海辺を知り、それを伝える人たちも減少し、目の前に海はあっても触れることのできない“近くて遠い大阪湾”となってしまった。

海・陸の自然環境が豊かなせんなん里海公園で、水辺の生き物観察会や、アマモ場再生活動など、地域の活動団体と連携した学習会を開催した。音楽と環境保全活動を融合した「せんなん里海さくらフェス」を開催し、参加者の年齢層拡大につながった。また、ワカメ養殖イベントでは、海・陸の環境における海藻の役割と、収穫することによる陸と海の連続性の重要性等を、多くの市民に体感していただいた。



生き物一斉調査



アマモ苗床&播種



ワカメ収穫祭

活動実績

参加人数 のべ 920 人 うちTOTOグループ参加 80 人	海の植樹 アマモの苗 100 株	種子採取 アマモ種子 2 万粒 種子播種 アマモ種子 1.5 万粒	活動回数 14 回	
---	----------------------------	--	---------------------	--

海浜公園海辺のアオサ回収 堆肥化プロジェクト

団体名 高砂海浜公園海辺の保全集いの会
 主な活動地域 兵庫県高砂市 兵庫県立高砂海浜公園
 代表者 吉政 静夫



活動報告

人工的につくられた高砂海浜公園には、近年、大量のアオサが発生した。景観はもちろん、海岸に流れ着き悪臭を放ち、また海底の生き物の生息にも悪影響をもたらしていた。

そのアオサを定期的に回収して、堆肥として再利用することを目指した活動を展開している。また、アオサの回収で美しくなった海辺での「体験型地引き網」と、潮干狩りや生き物の生態調査も行った。

アオサの回収には人海戦術が必須なので、多くの参加者の動員・確保が今後の課題である。地元の学校にも呼びかけ、小・中・高校生を動員し、さらに地元の手企業、組合へも参加を呼びかけたい。



アオサお掃除大作戦



回収した大量のアオサ



アオサ堆肥化

活動実績

参加人数



のべ**1,475**人
うちTOTO
グループ参加**19**人

アオサ回収量



買い物かご
約**1,120**箱

活動回数



12回



久保・肱川源流 水でつながる活動

団体名 久保・肱川源流を想う会
 主な活動地域 愛媛県西伊予市宇和町
 代表者 白武 和嘉子

facebook <https://ja-jp.facebook.com/kubo.hijikawa.genryu>



活動報告

肱川の源流を多くの人に知っていただき、自然に触れたり、水の保全活動を通して、地域子どもたちとの交流を深める活動を行った。

四季を通して活動を継続することを心がけ、年6回にわたり活動を実施した。具体的には、源流の保全活動と清掃活動、カワニナの観察と放流、ホタルの観察、源流の水質の調査、源流新聞の配布、源流祭りを開催した。

源流の水をきれいにするこの活動が農業新聞にも取り上げられ、活動グループ員も活気に満ちている。今後は清掃活動を継続しながら、さらに水の大切さを学び、水を守るための除伐、間伐の必要性を伝え、また、きれいな水で作られた農作物への関心も深めていきたい。



肱川源流の水質調査



源流の清掃活動



林業体験

活動実績

参加人数



のべ**109**人
うちTOTO
グループ参加**42**人

活動回数



6回

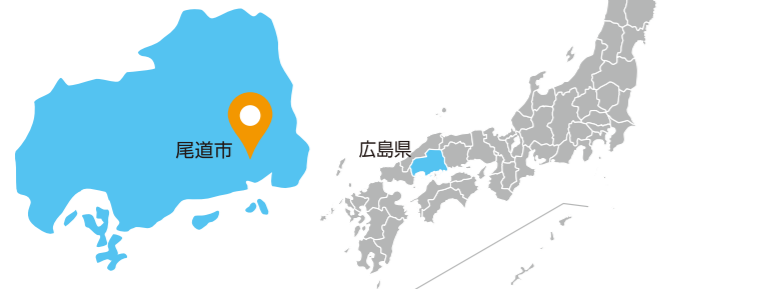


大羽谷川流域の 環境美化活動

団体名 大羽谷川流域の環境を考える会

主な活動地域 広島県尾道市御調町
丸川南大羽谷川流域

代表者 和泉 義弘



活動報告

「ストップ・ザ・環境破壊」をテーマに、平成18年10月に地域住民有志により活動を開始。TOTOをはじめ、文部科学省ほかの支援を受け里山再生活動を継続してきた。

40年あまり放置されてきた里山は、人が踏み入ることできないような状態と化し、作業は困難を極めたが、笹竹の刈り取り、雑木の伐採、倒木の除去、重機による林道の整備等を行った。整備が進み、昭和10年に造られた砂防堰堤の美しい全貌が現れた時は皆、感動した。

大羽谷には古墳や山城跡等の貴重な遺跡がある。今後、多くの人がこの遺跡を訪れることができるように、その周辺整備も行った。



大羽谷の自然と遺跡めぐり



丸太橋の点検作業



石垣の除草作業

活動実績

参加人数



のべ**240**人
うちTOTO
グループ参加**6**人

活動回数



60回以上



こども森林ボランティア 養成講座「もりメイトキッズ」

団体名 NPO法人 もりメイト倶楽部Hiroshima

主な活動地域 広島市内(西区、南区、安佐北区)
広島市安佐北区白木町
広島県大竹市松ヶ原など

代表者 見勢井 誠

HPアドレス <http://www.morimate-ch.com/>



活動報告

平成18年から年4回、この講座を継続してきた。活動体験を通じて、子どもたちに森林の役割、森づくりの大切さを感じてもらい、将来、森の守り方および楽しみ方を伝えるリーダーを目指してもらえるよう願っている。

第1回は、斧を使って丸太の薪割りやノコを使ってヒノキの枝払いなどを実施。第2回目以降は、ピオトープ作り、間伐材を使ったクラフト、竹林を整備してタケご飯作り、森の中の音楽祭、こうぞの皮を使った和紙作りおよび人工林の間伐などの体験学習を行った。

大学生も毎回10人以上ボランティアとして参加し、「森林の中で、学ぼう、使おう、楽しもう」をモットーに、子どもたちを誘導してくれた。なお、親子の参加者が第3~4回ではやや減少したことが、今回の反省点として挙げられる。



丸太の薪割り



こうぞの皮を使用した和紙作り



環境教育研究部会

活動実績

参加人数



のべ**353**人
うちTOTO
グループ参加**16**人

木の生産



140kg

枯れ木の伐倒



コナラ・松
2日間

活動回数



21回



水と緑の環境美化プロジェクト

団体名 東朽網校区まちづくり協議会
 主な活動地域 福岡県北九州市小倉南区
 代表者 柳田 克喜
 HPアドレス <http://kusamirising.web.fc2.com/>



活動報告

東朽網は水源地である水晶山、そこからの豊富な水をたたえ曾根平野へ運ぶ貯水池(昭和池)、住民の生活環境となる川(朽網川)、養分を海(干潟)へと送り出す河口である。この豊かな自然に触れながら、環境の変遷や地域の未来を住民全体で考えていく、大人から子どもまで一緒に学ぶ体験型学習(昭和池清掃と植樹、朽網川や河口清掃、カブトガニ産卵観察会)を実施した。

さらに水環境が守られ、次世代へ繋ぐことの大切さを共感できる環境意識の高い人づくりを行っていききたい。TOTOの皆様や一般のボランティア参加をいただき、大規模で効果的な活動が継続できている。今後も、ふるさとを愛する心を育み、水環境を守り繋げる活動を継続したい。



カブトガニ産卵観察会



河口清掃活動



昭和池もみじ谷清掃活動

活動実績

参加人数 のべ 624 人 うちTOTOグループ参加 148 人	集めたゴミの量 約 1,850 kg	植樹数 桜・いちよう・梅 25 本 菖蒲・芝桜など 330 株	活動回数 26 回	
--	------------------------------	---	---------------------	--

ホタル舞う旧長崎街道を目指して ～ホタルの飛翔域の拡大～

団体名 香月・黒川ほたるを守る会
 主な活動地域 福岡県北九州市八幡西区
 香月・黒川地区
 代表者 岩本 正
 HPアドレス <http://sky.geocities.jp/katukikurokawa/>



活動報告

TOTOや国土交通省等の支援により、「香月・黒川ほたる祭り」、韓日小学生ホタルシンポジウム参加者と異文化体験、小学生の環境学習発表会等、充実した活動ができた。

住民の憩いの場所でもある黒川の自然環境保護活動と、水棲生物の保護育成活動は今後も継続されることが望ましい。念願の「香月・黒川ほたる館」も完成し、幼稚園児や小学生たちが多く来館し、拠点としての役割を果たしている。

ホタル飛翔域の拡大も徐々にではあるが進展し、水路の整備が終わればホタルさんたちも顔を見せてくれると思う。



ほたる祭り



黒川の草刈り



オープンしたほたる館

活動実績

参加人数 のべ 196 人 うちTOTOグループ参加 86 人	草刈りと水路整備 約 1.5 km	清掃 約 1 km	活動回数 7 回	
---	-----------------------------	---------------------	--------------------	--

めざせ!紫川を日本一の清流にするプロジェクト2013 ~“山”TO“水”TO“私たち中谷”水源再生事業~

団体名 中谷地区まちづくり協議会
主な活動地域 福岡県北九州市小倉南区中谷地区
代表者 三井 勇策



活動報告

竹炭窯の火入れ・竹炭の窯出しを3回実施した。竹炭を製作し、紫川に投入し、川の浄化活動を実施した。

併せて「かぐめよし少年自然の家」では、「なかたに環境学校」を実施した。中谷地区の環境保全について中谷地区まちづくり協議会の長老、塚本忠衛氏が講演。紫川の生態については北九州高校の魚部、北九州地区のホタルの現況については全国ホタルの会会長の中村光男氏が講演。さらに、北九州の森林の昆虫等については赤松徹生氏の講演会を開催した。

北九州地区全般の環境保全の状況を地域住民、小学生等に啓発し、「かぐめよし少年自然の家」では、紫川の上流域で川遊びを実施し、好評を博した。



竹炭窯へ竹入れ



川へ竹炭投入



なかたに環境学校

活動実績

参加人数



のべ121人
うちTOTO
グループ参加60人

竹炭の販売



約15kg

活動回数



4回



冷川のホタルと親しむ会

団体名 冷川のホタルと親しむ会
主な活動地域 大分県別府市冷川
代表者 高橋 東洋雄



活動報告

別府市の北部に流れる「冷川」は、市内で唯一、温泉水の流れ込まない川であり、住宅街でありながら、昔からホタルが生息していた。

しかし、近年の環境の悪化から、ホタルや水に棲む生物は減少傾向にある。そうした中、ホタルをはじめ多くの生き物の保護を目指し、冷川の環境整備を進めてきた。

一昨年度から進めてきている河川敷の除草作業が進み、周辺は見通しよく、歩きやすく整備された。

ホタルの幼虫を増やすための土地に水を引き込む作業も進み、今後、多くの方々にホタル鑑賞をしていただけるよう、活動を続けていきたい。



冷川の清掃活動



カワニナの放流



雨天の活動の様子

活動実績

参加人数



のべ52人
うちTOTO
グループ参加32人

集めたゴミの量



4tトラック
2台

活動回数

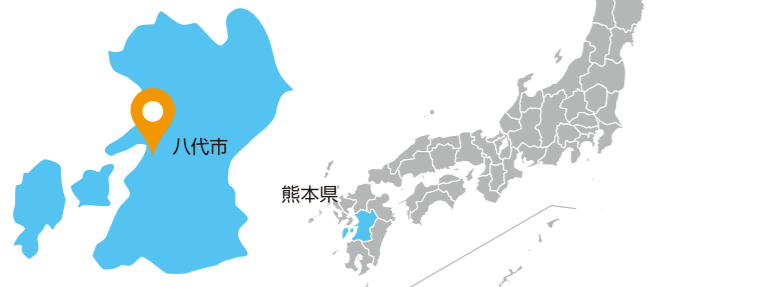


28回



氷川ダム湖 かき殻まつり

団体名 次世代のためにがんばろ会
 主な活動地域 熊本県八代市八代海・不知火海沿岸
 および地域の河川流域
 代表者 松浦 ゆかり
 HPアドレス <http://ganbarokai.com/>



活動報告

当会は11年間、川に流れ込むゴミや、生活排水の多さが自然界に与える悪影響を学ぶことを目的に、「かき殻を使用した河川水質浄化活動」を進めてきた。

今年度は、熊本県氷川ダム管理事務所の申し入れにより、生活排水問題に悩むダム湖で、官学民産の共同企画として、かき殻を使用した水質浄化作戦を行った。若い世代、特に高校生の参加者が多く、次世代への継承も期待できる。

引き続き、生活排水浄化活動を地域の方々と実施し、地域住民に水環境の重要性を意識してもらうために、かき殻とダム湖周辺の竹を炭にし、それも投与しつつ、河川保全の意識を高め、また現地で環境学習会も行っていきたい。



かき殻リレーの様子



かき殻による水質浄化



間伐した竹を炭に加工

活動実績

参加人数



のべ600人
うちTOTO
グループ参加47人

活動回数



29回



飲料水及び持続可能な農業のための灌漑用水支援事業

団体名 NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
 主な活動地域 フィリピン・ザンバレス州
 代表者 中島 早苗
 HPアドレス <http://ftcj.com/>



活動報告

1991年に起きたフィリピン・ピナツボ山大噴火で、先住民アエタ族コミュニティは水質汚染により故郷を追われ、新しい土地に移り住まなければならないという被害を受けた。

彼等の生活の再建と向上、および自立を目的とし、フィリピン・ザンバレス州のアエタ族の5つのコミュニティ(パパット、ラカス、カドマン、バフリ、リザーバ)に住む650世帯3,770人を対象に、手動式くみ上げポンプ、灌漑用水システムの設置、持続可能な農業についての研修を行った。

これにより、住民はきれいな水を身近に入手できるようになった。手洗いや体をこまめに洗うよう指導する衛生セミナーも開催し、衛生に関する意識も向上した。



資材運搬の様子



完成したポンプとコミュニティの人たち



ワークショップの様子

活動実績

受益者数



3,770人

ポンプの設置数



9台

活動回数

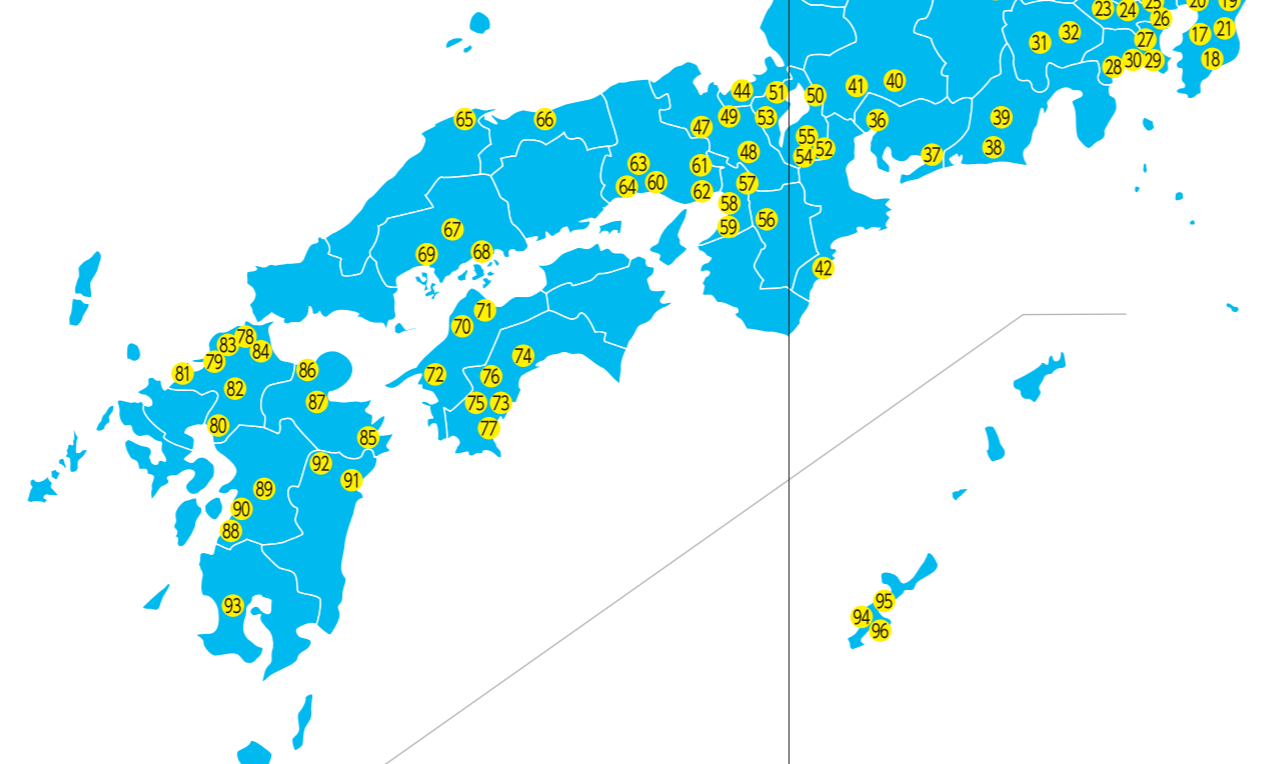


7回



助成団体一覧

No.	県名	団体名	開催回数								
			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
北海道・東北											
1	北海道	ばんばんばんびきん	●	●	●						
2	北海道	NPO法人 山のない北村の輝き							●		●
3	北海道	NPO法人 森をたてようネットワーク									●
4	青森	小川原湖自然楽校							●		
5	岩手	NPO法人 わが流域環境ネット			●	●					
6	岩手	NPO法人 紫波みらい研究所(代表団体)						●			
7	山形	鮭川村自然保護委員会			●	●					
8	宮城	梅田川せせらぎ緑道を考える会			●	●	●				
9	宮城	NPO法人 川崎町の資源をいかす会						●			
10	宮城	NPO法人 杜の都仙台ナショナルトラスト							●		
11	宮城	カワラバン									●
関東・甲信越											
12	茨城	NPO法人 WaterDoors							●		
13	茨城	御前山ダム環境センター									●
14	茨城	NPO 環~WA									●
15	群馬	NPO法人 緑の家学校	●								
16	群馬	さなざわ里山だんだんの会									●
17	千葉	NPO法人 ふるさと生きがいづくり	●	●	●						
18	千葉	NPO法人 印旛沼広域環境研究会	●								
19	千葉	NPO法人 印旛野菜いかだの会				●	●				
20	千葉	八千代市ほたるの里づくり実行委員会									●
21	千葉	NPO法人 森のライフスタイル研究所									●
22	埼玉	NPO法人 比企自然学校								●	●
23	東京	ぜんかんれん		●							
24	東京	白子川源流・水辺の会							●	●	●
25	東京	DEXTE-K									●
26	東京	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム									●
27	神奈川	NPO法人 おさかなポストの会								●	●
28	神奈川	浜っ子トラストチーム	●								
29	神奈川	ほのぼのビーチ茅ヶ崎			●	●	●				
30	神奈川	NPO法人 ヨコハマ倉造空間	●	●	●						
31	山梨	NPO法人 えがおつなげて		●							
32	山梨	NPO法人 ゼロファクトリー				●					
33	新潟	NPO法人 ねっとわーく福島潟			●						
34	新潟	高根フロンティアクラブ				●	●	●	●	●	
35	長野	ステップアップゼミ			●	●	●				
東海・北陸											
36	愛知	ネイチャークラブ東海			●	●					
37	愛知	虹のとびら									●
38	静岡	NPO法人 浜松NPOネットワークセンター	●								
39	静岡	NPO法人 はるの山の楽校								●	
40	岐阜	NPO法人 MY							●		
41	岐阜	大富山を愛する会									●
42	三重	一般社団法人 海っ子の森								●	●
43	石川	金沢エコライフ事業実行委員会	●								
44	福井	アマモサポーターズ				●	●	●			
45	富山	福光ふるさとの森を再生する会						●			
46	富山	金山里山の会									●
近畿											
47	京都	水源の里連絡協議会			●	●	●				
48	京都	NPO法人 プロジェクト保津川				●				●	
49	京都	ほたる祭改善プロジェクト委員会							●		
50	滋賀	NPO 旅するおさかなサポーター			●						
51	滋賀	NPO法人 夢工房	●								
52	滋賀	清水川湧遊会				●	●				
53	滋賀	たかしま有機農法研究会					●				
54	滋賀	神山区いい顔づくり委員会							●		
55	滋賀	NPO法人 家棟川流域観光船							●	●	●
56	奈良	景観ボランティア明日香			●	●	●	●	●	●	
57	大阪	NPO法人 花だんごネットワーク			●	●	●				
58	大阪	NPO法人 ふくてっく	●								



No.	県名	団体名	開催回数								
			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
近畿											
59	大阪	NPO法人 環境教育技術振興会									●
60	兵庫	「峠池」を考える会	●								
61	兵庫	武庫川の治水を考える連絡協議会	●								
62	兵庫	松蔭高等学校 Blue Earth Project					●	●			
63	兵庫	高砂海浜公園海辺の保全集いの会									●
64	兵庫	NPO法人 アンビシャスコーポレーション									●
中国・四国											
65	島根	NPO法人 飯梨川再生ネット									●
66	鳥取	山王さん周辺活性化協議会						●			
67	広島	酒屋地区自治会連合会					●	●	●		
68	広島	大羽谷川流域の環境を考える会						●			●
69	広島	NPO法人 モリメイト倶楽部Hiroshima									●
70	愛媛	宮前川クリーンネット					●		●		
71	愛媛	エコ・ライフ夢幻村					●	●			
72	愛媛	久保・脇川源流を想う会									●
73	高知	社 西土環境・文化センター 四万十楽舎	●								
74	高知	こうち森林救援隊					●	●	●		
75	高知	しまんと黒尊むら						●	●	●	
76	高知	大正中津川「やまびこ会」								●	
77	高知	橘若者会								●	
九州											
78	福岡	中谷地区まちづくり協議会	●	●	●	●	●	●	●	●	●
79	福岡	NPO法人 つやざき軒いきいき夢の会	●								
80	福岡	アクアリング委員会			●	●	●	●	●	●	●
81	福岡	火山里山保全交流会								●	
82	福岡	NPO法人 遠賀川流域住民の会							●		
83	福岡	香月・黒川 ほたるを守る会									●
84	福岡	東朽網校区まちづくり協議会									●
85	大分	佐伯広域森林組合								●	
86	大分	NPO法人 水辺に遊ぶ会									●
87	大分	冷川のホタルと親しむ会									●
88	熊本	やまंतर♥かわんたるの会	●	●							
89	熊本	どんぐりプラットホーム						●	●	●	
90	熊本	次世代のためにがんばる会									●
91	宮崎	MFV会									●
92	宮崎	高千穂森の会							●		
93	鹿児島	郡山マグニチュード21							●		
94	沖縄	宜野湾の美ら海を考える会							●		
95	沖縄	おきなわ環境塾								●	
96	沖縄	NPO法人 珊瑚舎スコール							●	●	
海外											
97	中国	NPO法人 環境資源保全研究会						●	●		
98	中国	ひふみや[自然農法]							●		
99	カンボジア	World Assistance for Cambodia and Japan Relief for Cambodia									●
100	インドネシア	日本インドネシアNGOネットワーク						●			
101	ルガワット	NPO法人 日本下水文化研究会						●	●	●	
102	ベトナム	社団法人 国際海洋科学技術協会						●	●	●	
103	ミャンマー	認定NPO法人 ブリッジ エーシア ジャパン						●	●	●	
104	ネパール	NPO法人 ミランクラブジャパン								●	
105	フィリピン	NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン									●
106	フィリピン	NPO法人 イカオ・アコ									●
107	モザンビーク	モザンビークのいのちをつなぐ会									●

第1回：2005年 10月～2006年 9月
 第2回：2006年 10月～2007年 9月
 第3回：2007年 10月～2008年 9月
 第4回：2008年 10月～2009年 9月
 第5回：2009年 10月～2010年 9月
 第6回：2010年 10月～2011年 9月
 第7回：2012年 4月～2013年 3月
 第8回：2013年 4月～2014年 3月
 第9回：2014年 4月～2015年 3月

あしたを、ちがう「まいにち」に。
TOTO